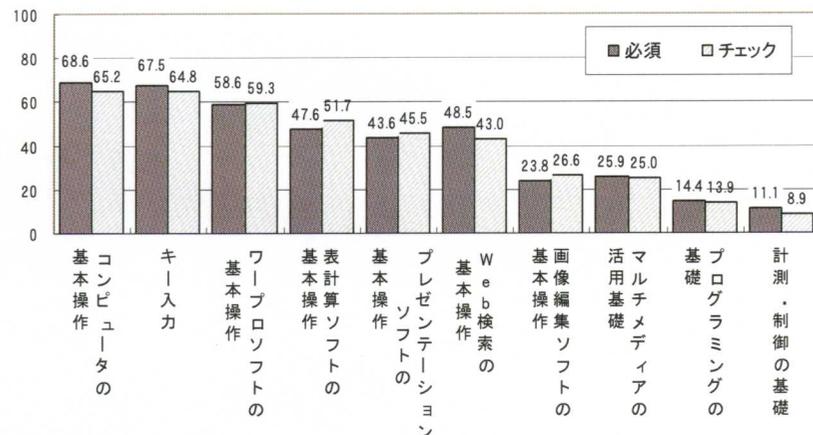


教科「情報」実態調査結果(生徒の入学時のスキル)

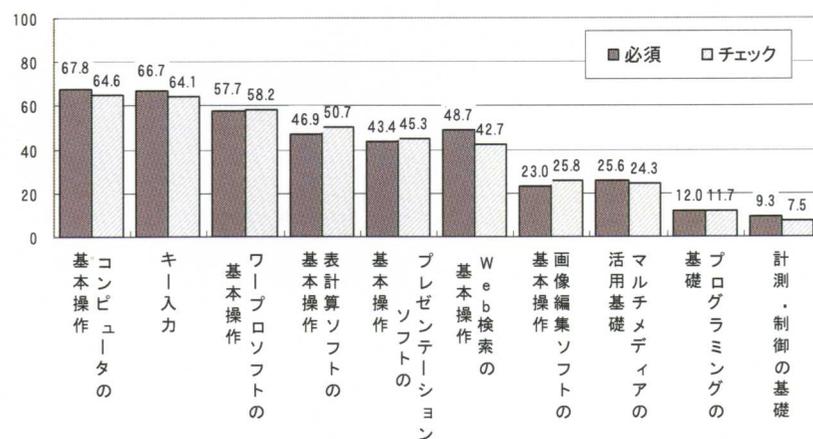
■パソコンなどのスキルについて、高等学校入学時点で獲得されているべき必須と位置づけられているスキルで最も高いのは、「コンピュータの基本操作」で68.6%、次いで「キー入力」の67.5%である。

全体 (n=1938)



「コンピュータの基本操作」や「Web検索の基本操作」など、パソコンなどのスキルについて、高等学校入学時点で獲得されているべき必須のスキルか否か、そのスキルの獲得の有無をチェックしているか否かを聞いた。チェックの有無についても、「コンピュータの基本操作」で65.2%、次いで「キー入力」の64.8%である。スキル間の順位、スコアも大きな差はない。学科別で見ても、「必須」と位置づけられている項目、「チェックしている」項目ともに上位項目に大きな差は見られない。ただし「普通科・総合学科」よりも「専門学科」の方が、ほとんどの項目で「必須」、「チェックしている」のスコアがともに高いものが多く、特に「プログラミングの基礎」は10ポイント以上高い。

普通科・総合学科 (n=1611)



専門学科 (n=327)

